

秋の自然体験教室「何種みつけられる？貝がらみつけと標本づくり」実施報告

実施日時：2022年11月20日（日）9：00～12：00

場 所：広島県呉市下蒲刈町 梶ヶ浜

講 師：濱村 陽一 氏（日本貝類学会会員）

参加者：10家族25名（大人：13名、子ども：12名）

天 候：晴れ

内 容：砂浜を歩くと見つかる貝がら。瀬戸内海だけでなんと1000種類以上！海底にはまだ見つかっていない種類もあると言われています。今回は、そんな身近にあるのに種類が分からない大小様々な貝がらを拾って、自分で種類を調べ、標本にする自然体験教室を開催しました。

【実施風景】



開会挨拶

貝がらのイベントを初企画！
生き物以外のテーマは初めてだったので集まらないかな？と思いましたが、定員以上の方にご応募いただきました。藤重レンジャーの挨拶では瀬戸内海が日本を代表する国立公園であることが紹介されました。



アイスブレイク

今日の目的や日程を共有した後はゲームを行いました。
梶が浜にいる生き物になってもらうのですが、自分だけは自分が何の生き物なのか分からない…という設定。出会った人に「私のすみかは海ですか？」「私の足は6本ですか？」など質問して自分が何なのか当てていきます。



終わったところで、アサリ、サザエ、ウミウシ、カタツムリ、ナメクジ、タコ、イカなどが軟体類という貝の仲間なんだと、濱村先生に説明いただきました。
実は昆虫類に次ぐ種類の多さ！



貝と海藻の家を見学

下蒲刈島の梶ヶ浜には、全国的にも珍しい世界と日本の貝殻が常設展示されている「貝と海藻の家」という施設があります。世界には？日本には？どんな貝がいるのか見学。

昔貨幣として使われていたタカラガイは一際きれいです。



ホタテ？

この形を見ると「ホタテ？」と思いますが、実は扇形の貝もたくさん種類があります。瀬戸内海でも生息しているヒオウギガイは紫や橙、黄など同じ種でも様々な色をしています。



イモガイ

芋形も色々な種類があります。

なんと「ヤキイモガイ」という名前の貝もありました（笑）



貝がら探し

いよいよ貝がらを探しに海水浴場へ！

「大抵子どもは10分くらいで飽きるのに…」と濱村先生は仰ってましたが、今日の参加者の皆さんは30分経っても戻ってこないくらい貝がら探しにはまっていました。



たくさんの微少貝たち

梶ヶ浜は人工海浜で、三原の海砂が入っているので、海底に生息していた貝と下蒲刈沖に生息していた貝の両方を見ることができます。



同定作業

ワーキングスペースに移動。
1000種類あると言われる貝を図鑑で調べるのは無理なので、教室用に作成した梶ヶ浜ミニ図鑑を使って分類・同定作業にチャレンジ！
この辺りでは珍しいレア貝もたくさん見つかりました。



標本づくり

1時間近い作業時間だったのですが、皆さんの集中力がすごい！
図鑑で調べたり、先生に聞いたりして標本を完成させました。



貝から標本完成！

見つかった貝はなんと50種類以上！
「こんなに種類があるとは思わなかった。」「名前が分かって面白かった」など感想が聞かれました。濱村先生曰く、以前よりも種類が増え、海の環境が改善しているのかもしれないとのこと。
普段何気なく見ている貝がらも、種類を調べることで、瀬戸内海の豊かな自然が垣間見えたのではないのでしょうか。
また貝がら探しをしたら、今回のミニ図鑑や標本を使って調べてもらえたらと思います。
皆さん、お疲れさまでした！